

教科	音楽	単元名	【歌唱】 サントルチア
----	----	-----	-------------

本時のねらい

音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

学習支援ソフト（Flat for Education）を活用して、自分のペースで楽譜を作成したり、作成した曲を何度も聴いたりして改善することをねらった。リズムや旋律を楽しみながら、意欲的に学習活動に取り組む。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・大型テレビ
- ・学習支援ソフト（Flat for Education）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認し、学習の見通しを持つ。 ○前時に学習した内容の振り返りとして、イタリア語の『サントルチア』を鑑賞する。 ○学習支援ソフト（Flat for Education）を立ち上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業で使用したワークシートやメモ機能から、大事なポイントを確認するよう促す。 ・Google Workspace for Education とのアカウント連動が可能なので、新規アカウントを作成することなくログインすることができる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習支援ソフト（Flat for Education）の基本的な操作を理解する。 ○教員から提示した課題を開き、「サントルチア」の旋律を入力する。 ○作成した曲をもとにグループ内で互いに話し合い、曲について気づいた点や歌唱に生かすことができる点について議論する。 ○完成した模範演奏を聴き、歌唱の際に工夫する点についてクラス全体で確認する。 ○工夫する点を意識しながら全員で『サントルチア』を歌唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のペースでリズムや音色、旋律などを自由に工夫することができ、作成した曲をすぐに確認して修正することができる。 ・学習支援ソフト（Flat for Education）では、音符の選択を間違えると入力できない設定もあるので、基本的な音楽記号を理解しながら作曲することができる。 ・教員用タブレット PC の画面で生徒の進捗状況を確認し、個別の支援をすることができる。 ・作曲した曲についての改善点などは、メモをとるなどして、後から改善できるよう促す。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいについて、気づいたことや考えたことなどを振り返りシートに記入する。 ○次時の学習内容を確認する。 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1：教科書の楽譜を参考に、学習支援ソフト（Flat for Education）に入力している場面



写真 2：学習の見通しや作曲についての注意点などについてクラス全体で確認している場面



写真 3：教員用タブレット PC から生徒の進捗状況を確認し、工夫点や改善点などについてのメッセージを送っている場面

児童生徒の反応や変容

学習支援ソフト（Flat for Education）の活用については、どの生徒も初めてだったため、操作に戸惑っていた。しかし操作しながら覚えていき、分からないところは互いに教え合いながら作曲する場面が多く見られた。また、自分のペースで何度も聴いて改善することができるため、曲に取り入れられている工夫などについて、多くの生徒が自分の考えをもつことができていた。クラス全体での歌唱でも、見つけた工夫点を意識しながら取り組むことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

学習支援ソフト（Flat for Education）を使用することで、音楽の基本知識を楽しみながら身につけながら作曲したり、確認したりすることができる。また、互いに作成した曲を聴きながら話し合いができるので、対話の質も高まる。